

LamSafeCarry

撮影画像運用支援ソフトウェア

Medical Image Support

特徴 撮影した検査画像を管理、USBメモリで持ち込み

撮影装置から受信した画像を自動的にUSBメモリに保存し、施設内の既存システム(DICOMビューア/DICOMサーバなど)への持ち込みや、読影依頼時の画像データ提供などをサポートする撮影画像運用支援ソフトウェアです。施設内で行われていた検査画像の確認・管理等の作業も検診車内で行えます。

機能

USB保存

- 受信した検査画像を自動的にUSBメモリに保存
USBメモリは2本まで同時書き込み可能
- USBメモリのフォーマットをソフトウェア上のボタン1つで一発初期化でき、そのまま検査画像を保存可能

自動バックアップ

- 受信したデータはPCIにも保存され、撮影装置のバックアップデータとしても活用

画像確認

- 受信した検査画像一覧からUSBメモリへの保存状況、検査の進行状況を確認
- 受信した検査画像をその場で表示し、スピーディな画像確認が可能

簡易検造

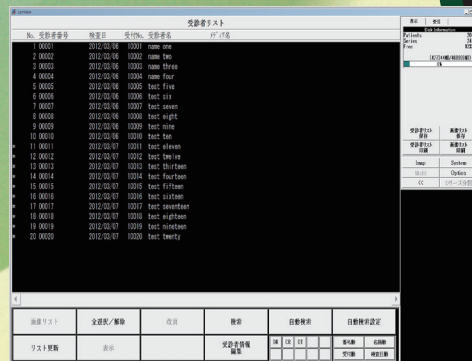
- 検査画像のシリーズ分割、受信者情報の編集が可能
- 編集した内容は自動的にUSBメモリにも反映

メディア作成 (オプション)

- 任意の検査画像をCD/DVDに書き込み
従来の光学メディアへの保存にも対応

シャッターモジュール対応 (オプション)

- シャッターモジュールを使用した撮影画像の遮蔽領域を黒塗りで表示できるよう対応



受診者リスト



USB内容確認画面

構成図

